

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-373214

(43)Date of publication of application : 26.12.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 15/00

(21)Application number : 2001-179619

(71)Applicant : FUJIWARA DAIGAN

(22)Date of filing : 14.06.2001

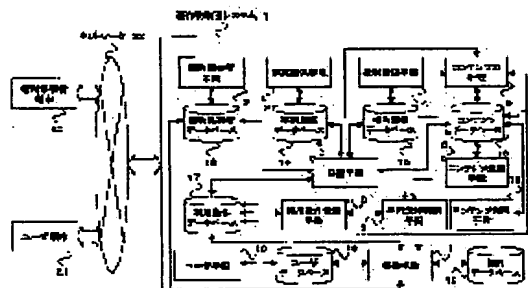
(72)Inventor : FUJIWARA DAIGAN

(54) LITERARY WORK TRANSACTION SYSTEM AND METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide work transaction system and method clarifying the complication of actual relations and right relations peculiar to works and reducing mental and physical burdens on a right holder side and a user side.

SOLUTION: The work transaction system is provided with a right holder data base, an actual relation data base, a right relation data base, a utilization condition data base, a content data base, a right holder means, an actual relation means receiving the actual relations and registering them to the actual relation data base, a right relation means receiving the right relations and registering them to the right relation data base, a utilization condition registration means receiving utilization conditions and registering them to the utilization condition data base, a content registration means receiving the works and registering them to the content data base, a content ID means issuing content IDs and a publication means publicizing at least a part of the actual relations, the right relations and the utilization conditions, etc.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-373214
(P2002-373214A)

(43) 公開日 平成14年12月26日 (2002. 12. 26)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	1 4 2	G 0 6 F 17/60	1 4 2 5 B 0 8 5
	3 0 2		3 0 2 E
	3 4 0		3 4 0
	5 1 2		5 1 2
	Z E C		Z E C

審査請求 未請求 請求項の数22 O L (全 15 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-179619(P2001-179619)

(22) 出願日 平成13年6月14日(2001. 6. 14)

(71) 出願人 501238900

藤原 大蔵

東京都目黒区駒場一丁目2番2号 入沢邸
3階301号

(72) 発明者 藤原 大蔵

東京都目黒区駒場一丁目2番2号 入沢邸
3階301号

(74) 代理人 100100402

弁理士 名越 秀夫 (外1名)

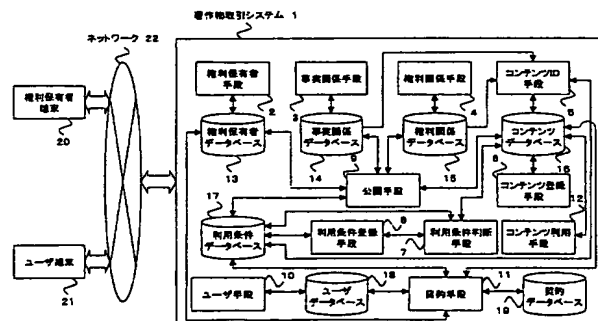
Fターム(参考) 5B085 AE23 BG06

(54) 【発明の名称】 著作物取引システム及び方法

(57) 【要約】

【課題】 著作物特有の事実関係、権利関係の複雑さを明確化し、且つ権利保有者側、利用者側の心理的、物理的負担を軽減した著作物取引システム及び方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 著作物取引システムは、権利保有者データベースと、事実関係データベースと、権利関係データベースと、利用条件データベースと、コンテンツデータベースと、権利保有者手段と、事実関係を受信し事実関係データベースに登録する事実関係手段と、権利関係を受信し権利関係データベースに登録する権利関係手段と、利用条件を受信し利用条件データベースに登録する利用条件登録手段と、著作物を受信しコンテンツデータベースに登録するコンテンツ登録手段と、コンテンツIDを発行するコンテンツID手段と、事実関係、権利関係、利用条件等の少なくとも一部を公開する公開手段とを有する著作物取引システムである。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】著作物に対して権利を有している権利保有者が有する権利保有者端末と前記著作物の利用を希望するユーザが有するユーザ端末との間で、ネットワークを介してデータの送受信が可能であり前記著作物を識別するコンテンツ ID の発行者であるコンテンツ ID 発行者が有する著作物取引システムであって、前記著作物取引システムは、前記権利保有者に関する情報を格納する権利保有者データベースと、前記著作物の事実関係を格納する事実関係データベースと、前記著作物の権利関係を格納する権利関係データベースと、前記著作物の利用条件を格納する利用条件データベースと、前記コンテンツ ID と前記著作物とを格納するコンテンツデータベースと、前記権利保有者端末から新たな権利保有者の登録を受け、前記権利保有者の認証を行う権利保有者手段と、前記権利保有者端末から前記著作物の事実関係を受信し、前記事実関係データベースに登録する事実関係手段と、前記権利保有者端末から前記著作物の権利関係を受信し、前記権利関係データベースに登録する権利関係手段と、前記権利保有者端末から前記著作物の利用条件を受信し、前記利用条件データベースに登録する利用条件登録手段と、前記権利保有者端末から前記著作物を受信し、前記コンテンツデータベースに登録するコンテンツ登録手段と、前記登録した前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件に基づいて前記コンテンツ ID を発行するコンテンツ ID 手段と、前記登録した事実関係、前記権利関係、前記利用条件、前記コンテンツ ID、前記著作物の少なくとも一部を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末に対して公開する公開手段とを有することを特徴とする著作物取引システム。

【請求項 2】前記著作物取引システムは、前記著作物の利用契約を格納している契約データベースと、前記公開手段に於いて公開している著作物に対する利用申込を前記ユーザ端末から受信し、前記権利保有者と前記ユーザとの間で前記著作物の利用契約を交わし、前記利用契約を前記契約データベースに登録する契約手段とを有することを特徴とする請求項 1 に記載の著作物取引システム。

【請求項 3】前記著作物取引システムは、前記利用条件登録手段に於いて前記権利保有者端末から受信した利用条件が、他の類似する著作物の利用条件と比較して著しい格差があるか否かを判断する利用条件判断手段を有することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の著作物取引システム。

【請求項 4】前記権利関係手段は、前記著作物の権利関係の登録の際に、予め定められた権利関係に関する 2 択の質問を前記権利保有者端末に送信し、前記権利保有者端末から前記質問に対する回答を受信することによって、前記権利関係を登録することを特徴とする請求項 1 に記載の著作物取引システム。

【請求項 5】前記コンテンツ ID 手段は、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とが前記コンテンツ ID 発行者の予め定めた条件に合致する場合には、前記著作物に対して定型的に処理が可能であることを示すコンテンツ ID を発行し、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とが前記コンテンツ ID 発行者の予め定めた条件に合致しない場合には、前記著作物に対して定型的に処理が行えないことを示すコンテンツ ID を発行することを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の著作物取引システム。

【請求項 6】前記利用条件判断手段は、前記他の類似する著作物の利用条件と比較する際に、前記利用条件登録手段に於いて前記権利保有者端末から受信した利用条件に基づいて前記著作物に対して発行したコンテンツ ID と類似しているコンテンツ ID を、前記コンテンツデータベースから検索し、前記検索した類似しているコンテンツ ID を有する著作物の利用条件を前記利用条件データベースから抽出し、前記抽出した利用条件と、前記受信した利用条件とを比較することを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の著作物取引システム。

【請求項 7】前記契約手段は、前記ユーザ端末から著作物の利用申込を受信し、前記利用申込のあった著作物の前記コンテンツ ID を参照し、前記コンテンツ ID が定型的に処理が可能であることを示していれば前記ユーザと前記権利保有者との間とで前記著作物の利用契約を交わし、前記利用契約を前記契約データベースに登録し、前記コンテンツ ID が定型的に処理が行えないことを示していれば前記ユーザ端末に対して前記著作物の権利保有者の連絡先を送信し個別交渉を行わせ、前記個別交渉に依って交わされた利用契約を、前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末から受信し、前記契約データベースに登録することを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の著作物取引システム。

【請求項 8】前記契約手段は、前記契約データベースに格納している利用契約の少なくとも一部を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末に対して公開することを特徴とする請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の著作物取引システム。

【請求項 9】前記著作物取引システムに於いて、前記権利保有者は前記著作物取引システムに登録した前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件に対して責任を有し、前記ユーザは前記コンテンツ ID を閲覧して前記権利保有者と前記著作物の利用に対する契約を行った際には保護されることにより、前記コンテンツ ID に対して公信力を発生させることを特徴とする請求項 1 から請求項 8 のいずれかに記載の著作物取引システム。

【請求項 10】前記著作物取引システムに於いて、前記権利関係の変動を前記コンテンツ ID の前記コンテンツデータベースへの登録の有無によって決定し、前記権利関係の変動の登録後に前記ユーザから前記権利保有者に

対して移転対価を支払うことにより、前記コンテンツ ID に対して公示力を発生させることを特徴とする請求項 1 から請求項 8 のいずれかに記載の著作物取引システム。

【請求項 11】前記公開手段に於いて、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件の少なくとも一部を前記著作物取引システムにアクセスしている前記ユーザの全て又は一部に対して公開することにより、前記著作物取引システムに対して公証力を発生させることを特徴とする請求項 1 から請求項 8 のいずれかに記載の著作物取引システム。

【請求項 12】著作物に対して権利を有している権利保有者が有する権利保有者端末と前記著作物の利用を希望するユーザが有するユーザ端末と前記著作物を識別するコンテンツ ID の発行者であるコンテンツ ID 発行者との間で、ネットワークを介して著作物利用の取引を行う著作物取引方法であって、前記著作物取引方法は、前記権利保有者端末から新たな権利保有者の登録を受け、権利保有者データベースに登録し、前記権利保有者の認証を行い、前記権利保有者端末から前記著作物の事実関係を受信し、事実関係データベースに登録し、前記権利保有者端末から前記著作物の権利関係を受信し、権利関係データベースに登録し、前記権利保有者端末から前記著作物の利用条件を受信し、利用条件データベースに登録し、前記登録した前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とに基づいて前記コンテンツ ID を発行し、前記権利保有者端末から前記著作物を受信し、前記著作物と前記コンテンツ ID とをコンテンツデータベースに登録し、前記登録した前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件、前記コンテンツ ID、前記著作物の少なくとも一部を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末に対して公開することを特徴とする著作物取引方法。

【請求項 13】前記著作物取引方法は、前記公開した著作物に対する利用申込を前記ユーザ端末から受信し、前記権利保有者と前記ユーザとの間で前記著作物の利用契約を交わし、前記利用契約を契約データベースに登録することを特徴とする請求項 12 に記載の著作物取引方法。

【請求項 14】前記著作物取引方法は、前記権利保有者端末から受信した利用条件が、他の類似する著作物の利用条件と比較して著しい格差があるか否かを判断することを特徴とする請求項 12 又は請求項 13 に記載の著作物取引方法。

【請求項 15】前記著作物の権利関係の登録の際に、予め定められた権利関係に関する 2 択の質問を前記権利保有者端末に送信し、前記権利保有者端末から前記質問に対する回答を受信することによって、前記権利関係を登録することを特徴とする請求項 12 に記載の著作物取引方法。

【請求項 16】前記コンテンツ ID を発行する際に、前

記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とが前記コンテンツ ID 発行者の予め定めた条件に合致する場合には、前記著作物に対して定型的に処理が可能であることを示すコンテンツ ID を発行し、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とが前記コンテンツ ID 発行者の予め定めた条件に合致しない場合には、前記著作物に対して定型的に処理が行えないことを示すコンテンツ ID を発行することを特徴とする請求項 12 から請求項 15 のいずれかに記載の著作物取引方法。

【請求項 17】前記権利保有者端末から受信した利用条件と前記他の類似する著作物の利用条件とを比較する際に、前記権利保有者端末から受信した利用条件に基づいて前記著作物に対して発行したコンテンツ ID と類似しているコンテンツ ID を、前記コンテンツデータベースから検索し、前記検索した類似しているコンテンツ ID を有する著作物の利用条件を前記利用条件データベースから抽出し、前記抽出した利用条件と、前記受信した利用条件とを比較することを特徴とする請求項 12 から請求項 16 のいずれかに記載の著作物取引方法。

【請求項 18】前記契約の際に、前記ユーザ端末から著作物の利用申込を受信し、前記利用申込のあった著作物の前記コンテンツ ID を参照し、前記コンテンツ ID が定型的に処理が可能であることを示していれば前記ユーザと前記権利保有者との間で前記著作物の利用契約を交わし、前記利用契約を前記契約データベースに登録し、前記コンテンツ ID が定型的に処理が可能でないことを示していれば前記ユーザ端末に対して前記著作物の権利保有者の連作先を送信し個別交渉を行わせ、前記個別交渉に依って交わされた利用契約を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末から受信し前記契約データベースに登録することを特徴とする請求項 12 から請求項 17 のいずれかに記載の著作物取引方法。

【請求項 19】前記著作物取引方法は、前記契約データベースに格納している利用契約の少なくとも一部を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末に対して公開することを特徴とする請求項 12 から請求項 18 のいずれかに記載の著作物取引方法。

【請求項 20】前記著作物取引方法に於いて、前記権利保有者は前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件に対して責任を有し、前記ユーザは前記コンテンツ ID を閲覧して前記権利保有者と前記著作物の利用に対する契約を行った際には保護されることにより、前記コンテンツ ID に対して公定力を発生させることを特徴とする請求項 12 から請求項 19 のいずれかに記載の著作物取引方法。

【請求項 21】前記著作物取引方法に於いて、前記権利関係の変動を前記コンテンツ ID の前記コンテンツデータベースへの登録の有無によって決定し、前記権利関係の変動の登録後に前記ユーザから前記権利保有者に対し

て移転対価を支払うことにより、前記コンテンツIDに対して公示力を発生させることを特徴とする請求項12から請求項19のいずれかに記載の著作物取引方法。

【請求項22】前記登録した事実関係、権利関係、利用条件、コンテンツID、著作物の少なくとも一部を公開する際に、前記ユーザの全て又は一部に対して公開することにより公証力を発生させることを特徴とする請求項12から請求項19のいずれかに記載の著作物取引方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、著作物の事実関係、権利関係、利用条件等を明確化する手段によって、ネットワークを介した前記著作物の取引を容易且つ安全に行わせる為の著作物取引システム及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、著作物の利用を希望する者は、著作物に関して権利を有する者と相対交渉し、様々な事実関係、権利関係、利用条件等を確認し、契約を交わすことによって、著作物の利用を図ってきた（相対取引）。これに対し、インターネットを代表とするネットワークの発達と共に、ネットワーク上に於いて大量の著作物の流通を行うことが期待されている（大量取引）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし著作物をネットワークを介して流通させようとしても著作物には、原作、挿入音楽、俳優等の各々の権利関係が複雑に絡み合い、且つ想定していない権利や権利者が著作物の中に含まれている可能性もある為、事実関係、権利関係、利用条件の処理が困難である。又事実関係、権利関係、利用条件が真実であることの保証がない為、取引の安全が図られていない。

【0004】これに対し前記権利関係のチェック機能を付加した著作物の取引手法も存在しており、その一例が特開平11-154944号公報、特開平11-167596号に明示されている。

【0005】特開平11-154944号公報の発明は、著作物に対して暗号化を施し、利用する際には復号の為のパスワードを入力することによって、著作物の利用が可能となるシステムである。

【0006】この方法の場合には、著作物の複製の防止は可能であるが、そもそも著作物自体が利用者の希望する著作物であるか、権利関係はどうなっているか、利用条件はどうなっているか等の確認が行えない等の問題点が存在している。

【0007】又特開平11-167596号公報の発明は、著作物に対してIDを付与し、利用者が利用する場合には、IDに基づいて利用条件をサーバに問い合わせることによって利用条件に違反しているか否かのチェックを行うシステムである。

【0008】この方法の場合には、IDをサーバに問い合わせることによって著作権者側の権利を保護しているが、特開平11-154944号公報と同様に利用する側の利便性の向上や権利保護が行われていない。

【0009】即ち、この場合のIDは単に著作物を他の著作物を区別する為の識別子にすぎず、ID自体に有意性がないので、利用条件をサーバに問い合わせる必要性が存する。

【0010】前記2公報以外に権利を有する側、利用者側の権利を明確化する為、文化庁に対しての著作物の登録制度も存するが、登録を行う為には定められた方式で明細書（場合によっては添付資料）の作成、費用等の負担が生じる上に、登録できる事項も実名、第一発行年月日、創作年月日、著作権の移転、担保設定等に限定され、その内容もいちいち原簿を参照しなければならないという不都合がある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は前記問題点に鑑み、著作物にID番号を付加し、そのID番号に著作物の事実関係、権利関係、利用条件の有意性を付与し、その意味に公信力、公示力、公証力を持たせる。更にこのID番号を定型と非定型に分類し、定型ID番号により表示される事実関係、権利関係、利用条件の認識を容易にし、非定型ID番号により、多様な事項の表示を可能にする。これにより、権利主張と著作物取引の安全のバランスを計り、もって著作物流通を促進する著作物取引システム及び方法を考案した。又非定型的条件の場合でも、その中で近接したID番号を持つものと比較参照してその概略を認識することが出来るという機能を有している。

【0012】請求項1の発明は、著作物に対して権利を有している権利保有者が有する権利保有者端末と前記著作物の利用を希望するユーザが有するユーザ端末との間で、ネットワークを介してデータの送受信が可能であり前記著作物を識別するコンテンツIDの発行者であるコンテンツID発行者が有する著作物取引システムであって、前記著作物取引システムは、前記権利保有者に関する情報を格納する権利保有者データベースと、前記著作物の事実関係を格納する事実関係データベースと、前記著作物の権利関係を格納する権利関係データベースと、前記著作物の利用条件を格納する利用条件データベースと、前記コンテンツIDと前記著作物とを格納するコンテンツデータベースと、前記権利保有者端末から新たな権利保有者の登録を受け、前記権利保有者の認証を行う権利保有者手段と、前記権利保有者端末から前記著作物の事実関係を受信し、前記事実関係データベースに登録する事実関係手段と、前記権利保有者端末から前記著作物の権利関係を受信し、前記権利関係データベースに登録する権利関係手段と、前記権利保有者端末から前記著作物の利用条件を受信し、前記利用条件データベース

に登録する利用条件登録手段と、前記権利保有者端末から前記著作物を受信し、前記コンテンツデータベースに登録するコンテンツ登録手段と、前記登録した前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件に基づいて前記コンテンツIDを発行するコンテンツID手段と、前記登録した事実関係、前記権利関係、前記利用条件、前記コンテンツID、前記著作物の少なくとも一部を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末に対して公開する公開手段とを有する著作物取引システムである。

【0013】請求項2の発明は、前記著作物取引システムは、前記著作物の利用契約を格納している契約データベースと、前記公開手段に於いて公開している著作物に対する利用申込を前記ユーザ端末から受信し、前記権利保有者と前記ユーザとの間で前記著作物の利用契約を交わし、前記利用契約を前記契約データベースに登録する契約手段とを有する著作物取引システムである。

【0014】請求項3の発明は、前記著作物取引システムは、前記利用条件登録手段に於いて前記権利保有者端末から受信した利用条件が、他の類似する著作物の利用条件と比較して著しい格差があるか否かを判断する利用条件判断手段を有する著作物取引システムである。

【0015】請求項4の発明は、前記権利関係手段は、前記著作物の権利関係の登録の際に、予め定められた権利関係に関する2択の質問を前記権利保有者端末に送信し、前記権利保有者端末から前記質問に対する回答を受信することによって、前記権利関係を登録する著作物取引システムである。

【0016】請求項5の発明は、前記コンテンツID手段は、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とが前記コンテンツID発行者の予め定めた条件に合致する場合には、前記著作物に対して定型的に処理が可能であることを示すコンテンツIDを発行し、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とが前記コンテンツID発行者の予め定めた条件に合致しない場合には、前記著作物に対して定型的に処理が行えないことを示すコンテンツIDを発行する著作物取引システムである。

【0017】請求項6の発明は、前記利用条件判断手段は、前記他の類似する著作物の利用条件と比較する際に、前記利用条件登録手段に於いて前記権利保有者端末から受信した利用条件に基づいて前記著作物に対して発行したコンテンツIDと類似しているコンテンツIDを、前記コンテンツデータベースから検索し、前記検索した類似しているコンテンツIDを有する著作物の利用条件を前記利用条件データベースから抽出し、前記抽出した利用条件と、前記受信した利用条件とを比較する著作物取引システムである。

【0018】請求項7の発明は、前記契約手段は、前記ユーザ端末から著作物の利用申込を受信し、前記利用申込のあった著作物の前記コンテンツIDを参照し、前記

コンテンツIDが定型的に処理が可能であることを示していれば前記ユーザと前記権利保有者との間で前記著作物の利用契約を交わし、前記利用契約を前記契約データベースに登録し、前記コンテンツIDが定型的に処理が行えないことを示していれば前記ユーザ端末に対して前記著作物の権利保有者の連絡先を送信し個別交渉を行わせ、前記個別交渉に依って交わされた利用契約を、前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末から受信し、前記契約データベースに登録する著作物取引システムである。

【0019】請求項8の発明は、前記契約手段は、前記契約データベースに格納している利用契約の少なくとも一部を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末に対して公開する著作物取引システムである。

【0020】請求項9の発明は、前記著作物取引システムに於いて、前記権利保有者は前記著作物取引システムに登録した前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件に対して責任を有し、前記ユーザは前記コンテンツIDを閲覧して前記権利保有者と前記著作物の利用に対する契約を行った際には保護されることにより、前記コンテンツIDに対して公信力を発生させる著作物取引システムである。

【0021】請求項10の発明は、前記著作物取引システムに於いて、前記権利関係の変動を前記コンテンツIDの前記コンテンツデータベースへの登録の有無によって決定し、前記権利関係の変動の登録後に前記ユーザから前記権利保有者に対して移転対価を支払うことにより、前記コンテンツIDに対して公示力を発生させる著作物取引システムである。

【0022】請求項11の発明は、前記公開手段に於いて、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件の少なくとも一部を前記著作物取引システムにアクセスしている前記ユーザの全て又は一部に対して公開することにより、前記著作物取引システムに対して公証力を発生させる著作物取引システムである。

【0023】請求項12の発明は、著作物に対して権利を有している権利保有者が有する権利保有者端末と前記著作物の利用を希望するユーザが有するユーザ端末と前記著作物を識別するコンテンツIDの発行者であるコンテンツID発行者との間で、ネットワークを介して著作物利用の取引を行う著作物取引方法であって、前記著作物取引方法は、前記権利保有者端末から新たな権利保有者の登録を受け、権利保有者データベースに登録し、前記権利保有者の認証を行い、前記権利保有者端末から前記著作物の事実関係を受信し、事実関係データベースに登録し、前記権利保有者端末から前記著作物の権利関係を受信し、権利関係データベースに登録し、前記権利保有者端末から前記著作物の利用条件を受信し、利用条件データベースに登録し、前記登録した前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とに基づいて前記コンテン

ツIDを発行し、前記権利保有者端末から前記著作物を受信し、前記著作物と前記コンテンツIDとをコンテンツデータベースに登録し、前記登録した前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件、前記コンテンツID、前記著作物の少なくとも一部を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末に対して公開する著作物取引方法である。

【0024】請求項13の発明は、前記著作物取引方法は、前記公開した著作物に対する利用申込を前記ユーザ端末から受信し、前記権利保有者と前記ユーザとの間で前記著作物の利用契約を交わし、前記利用契約を契約データベースに登録する著作物取引方法である。

【0025】請求項14の発明は、前記著作物取引方法は、前記権利保有者端末から受信した利用条件が、他の類似する著作物の利用条件と比較して著しい格差があるか否かを判断する著作物取引方法である。

【0026】請求項15の発明は、前記著作物の権利関係の登録の際に、予め定められた権利関係に関する2択の質問を前記権利保有者端末に送信し、前記権利保有者端末から前記質問に対する回答を受信することによって、前記権利関係を登録する著作物取引方法である。

【0027】請求項16の発明は、前記コンテンツIDを発行する際に、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とが前記コンテンツID発行者の予め定めた条件に合致する場合には、前記著作物に対して定型的に処理が可能であることを示すコンテンツIDを発行し、前記著作物の前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件とが前記コンテンツID発行者の予め定めた条件に合致しない場合には、前記著作物に対して定型的に処理が行えないことを示すコンテンツIDを発行する著作物取引方法である。

【0028】請求項17の発明は、前記権利保有者端末から受信した利用条件と前記他の類似する著作物の利用条件とを比較する際に、前記権利保有者端末から受信した利用条件に基づいて前記著作物に対して発行したコンテンツIDと類似しているコンテンツIDを、前記コンテンツデータベースから検索し、前記検索した類似しているコンテンツIDを有する著作物の利用条件を前記利用条件データベースから抽出し、前記抽出した利用条件と、前記受信した利用条件とを比較する著作物取引方法である。

【0029】請求項18の発明は、前記契約の際に、前記ユーザ端末から著作物の利用申込を受信し、前記利用申込のあった著作物の前記コンテンツIDを参照し、前記コンテンツIDが定型的に処理が可能であることを示していれば前記ユーザと前記権利保有者との間で前記著作物の利用契約を交わし、前記利用契約を前記契約データベースに登録し、前記コンテンツIDが定型的に処理が可能でないことを示していれば前記ユーザ端末に対して前記著作物の権利保有者の連作先を送信し個別交渉を

行わせ、前記個別交渉に依って交わされた利用契約を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末から受信し前記契約データベースに登録する著作物取引方法である。

【0030】請求項19の発明は、前記著作物取引方法は、前記契約データベースに格納している利用契約の少なくとも一部を前記ユーザ端末及び／又は前記権利保有者端末に対して公開する著作物取引方法である。

【0031】請求項20の発明は、前記著作物取引方法に於いて、前記権利保有者は前記事実関係、前記権利関係、前記利用条件に対して責任を有し、前記ユーザは前記コンテンツIDを閲覧して前記権利保有者と前記著作物の利用に対する契約を行った際には保護されることにより、前記コンテンツIDに対して公信力を発生させる著作物取引方法である。

【0032】請求項21の発明は、前記著作物取引方法に於いて、前記権利関係の変動を前記コンテンツIDの前記コンテンツデータベースへの登録の有無によって決定し、前記権利関係の変動の登録後に前記ユーザから前記権利保有者に対して移転対価を支払うことにより、前記コンテンツIDに対して公示力を発生させる著作物取引方法である。

【0033】請求項22の発明は、前記登録した事実関係、権利関係、利用条件、コンテンツID、著作物の少なくとも一部を公開する際に、前記ユーザの全て又は一部に対して公開することにより公証力を発生させる著作物取引方法である。

【0034】本発明に於いて、著作物の利用が為されることを希望する権利保有者には、自分が有している著作物の事実関係、権利関係、利用条件を入力することによって著作物に対して事実関係、権利関係、利用条件が反映されたコンテンツIDが付与される。即ちコンテンツID自体に有意性を付与し、コンテンツIDを一瞥すれば著作物の事実関係、権利関係、利用条件等の概略の把握が可能となる。

【0035】このコンテンツIDを取得した者は付与されたコンテンツIDに基づき、入力した事実関係、権利関係、利用条件に対して責任を有さねばならず、逆にコンテンツIDを信用して取引をした権利取得者はその信頼が保護されることとなる。即ち、コンテンツIDに対して公信力が発生することとなる。そしてこの公信力は、本システムを利用する事に同意した者すべての間で効力を有する。

【0036】又権利関係の変動をコンテンツIDの登録の有無によって決めることにすれば、権利が二重に処分されてもコンテンツIDの登録の有無によって権利の帰属、内容が決定される。そしてこの登録後に移転対価を支払うことにすれば、権利取得者にとっての取引安全も十分に図られる。即ちこのコンテンツIDは公示力を有することになる。

【0037】又、著作物の事実関係、権利関係、利用条件の少なくとも一部を本システムにアクセスしている全員に対して公開するプロセスを付加することによって、第三者による新たな証明活動を要することなく、公開そのものにより公証力を付与することとなる。即ち衆人環視の下に於いては、事実関係、権利関係、利用条件及びその変動が公開され契約内容に違反しているか否かの監視が全員によって公に証明される。

【0038】これら公信力、公示力、公証力を設けることによって、権利保有者側、権利取得者側の双方の不安を解消し、安全且つ信頼性の高い著作物取引が可能となる。

【0039】更にこのコンテンツIDの事実関係、権利関係、利用条件をコンテンツIDの発行者が予め定めた定型条件に合致させるか否かによって、ネットワーク上に於いて定型的な権利処理が可能な定型コンテンツID、何らかの問題点があり個別交渉が必要な非定型コンテンツIDの2種類に自動的に分別することができる。これによりコンテンツIDを参照するのみで事実関係、権利関係、利用条件が定型条件か非定型条件かの判断を行い契約を交わす条件を把握することが容易となる。ここにいう定型とはID発行者が定型と定めたものをいう。又、ID発行者は是非に二分される答を導く質問の形で定型コンテンツIDを形成することが出来る。

【0040】定型コンテンツIDは、ID登録者の判断を経ているので一般的にコスト、リスクの予想可能性が極めて高い。一つの著作物についての事実関係、権利関係、利用条件が全て定型コンテンツIDにより表示されていれば、取引条件について一つ一つ吟味する必要がなく、安心して取り引きすることができ、大量取引が極めて容易になる。他方、事実関係、権利関係、利用条件には定型で表すことの出来ない様々な非定型事項もあり、これについてはコンテンツIDによりその事項を参照してじっくりと判断することも出来る。この二分化により個々の権利者の権利主張を抑制することなく、著作物の大量取引を迅速、安全に行うことが可能となる。

【0041】

【発明の実施の形態】本発明の実施態様の一例を図を用いて詳細に説明する。図1は本発明のシステム構成の一例を示すシステム構成図である。著作物取引システム1は、著作物に対する権利保有者が有する権利保有者端末20と著作物の利用を希望する権利取得者（以下、ユーザ）が有するユーザ端末21との間でネットワーク22を介してデータの送受信が可能である。本実施態様に於いては権利保有者端末20及びユーザ端末21は各1台ずつとなっているが、複数存在していても良いことは当然である。

【0042】著作物取引システム1は、権利保有者手段2、事実関係手段3、権利関係手段4、コンテンツID手段5、コンテンツ登録手段6、利用条件判断手段7、

利用条件登録手段8、公開手段9、ユーザ手段10、契約手段11、コンテンツ利用手段12、権利保有者データベース13、事実関係データベース14、権利関係データベース15、コンテンツデータベース16、利用条件データベース17、ユーザデータベース18、契約データベース19を有している。

【0043】権利保有者手段2は、権利保有者の登録の際に、権利保有者端末20から権利保有者に関する情報を受信し、権利保有者データベース13に登録する手段である。権利保有者に関する情報の一例としては、権利保有者名、住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、法人の場合は代表者名、経歴、及び今回登録する以外に何らかの権利を有している著作物名等が挙げられる。又、権利保有者のパスワードを発行し、権利保有者端末20に送信する手段でもある。権利保有者データベース13の概念図を図5に示す。

【0044】事実関係手段3は、著作物の登録の際に、権利保有者端末20から著作物に関する事実関係を受信し、事実関係データベース14に登録する手段である。ここで事実関係としては、著作物そのものに関する情報であってその一例として、制作日、作成国（著作物の所属する国）、制作場所等の制作関連情報、タイトル、サブタイトル、ストーリー、解説、キーワード、言語等の著作物概要、及び著作物の形態、ジャンル、連載番号等の著作物種別に関する情報等が挙げられる。事実関係データベース14の概念図の一例を図6に示す。

【0045】権利関係手段4は、著作物の登録の際に、権利保有者端末20から著作物に関する権利関係を受信し、権利関係データベース15に登録する手段である。著作物に関する権利関係の一例としては、権利保有者が有している権利、著作物に係る権利関係（原作、脚本、音楽、人物、二次使用等）がクリアになっているか等を登録する。権利関係を入力する際には、例えば図7に示す複数の2択の質問（例えば、「原作（小説）がある」等）を権利関係手段4から権利保有者端末20に送信し、権利保有者がこれらの質問に対して回答することによって、権利関係が権利関係手段4を介して権利関係データベース15に登録される。

【0046】尚、ここで2択の質問を行うことによって、権利関係の確定を容易にすることも出来る。

【0047】コンテンツID手段5は、登録する著作物に対して著作物の事実関係、権利関係、利用条件の概略が判別でき、著作物を識別する為のコンテンツIDを発行し、前記コンテンツIDをコンテンツデータベース16に登録する手段である。又、前記コンテンツIDを権利保有者端末20に送信する手段でもある。

【0048】コンテンツ登録手段6は、映画や音楽等の著作物をコンテンツデータベース16にデータベース化して登録する手段である。

【0049】利用条件登録手段8は、著作物の利用方法

毎の利用料金、利用期間等の利用条件を権利保有者端末 20 から受信し、利用条件データベース 17 にデータベース化して登録する手段である。

【0050】利用条件判断手段 7 は、利用条件登録手段 8 を介して登録する著作物の利用方法毎の利用料金、利用期間等の利用条件が、他の類似する著作物の利用条件と比較し妥当か否かを自動的に判断する手段である。これは、登録する著作物のコンテンツ ID と類似するコンテンツ ID をコンテンツデータベース 16 から検索し、前記検索したコンテンツ ID の利用条件を利用条件データベース 17 から抽出し、前記抽出した利用条件と前記登録する著作物の利用条件とを比較し、著しい格差があるか否かを判断する。これによって、著作物毎に於ける利用条件の著しい格差等を除去し、且つ入力ミス等を防ぐことになる。

【0051】尚、コンテンツ ID が類似しているということは、著作物の事実関係、権利関係、利用条件等が類似していることを意味しているため、類似するコンテンツ ID を検索することによって、類似している著作物の詳細な利用条件（利用条件データベース 17 に登録している利用条件）を抽出する為のキーとすることが可能となる。

【0052】又、利用条件を過去に登録した利用条件から判断するのみならず、コンテンツデータベース 16 及び利用条件データベース 17 内に予め複数の基本パターンとなる、コンテンツ ID と利用条件の基本パターン（雛形）を登録しておきそれと比較することによって、利用条件判断手段 7 で利用条件が妥当であるか否かを判断しても良い。

【0053】公開手段 9 は、権利保有者データベース 13、事実関係データベース 14、権利関係データベース 15、コンテンツデータベース 16、利用条件データベース 17 に登録した権利保有者に関する情報、事実関係、権利関係、コンテンツ ID、著作物、利用条件等をユーザ端末 21 に対して公開する手段である。

【0054】ユーザ手段 10 は、著作物の利用を希望する新規ユーザの登録をユーザ端末 21 から受信し、前記新規ユーザに対してユーザ ID 及びパスワードを発行し、各ユーザの氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス等の基本情報、前記発行したユーザ ID、パスワード等をユーザデータベース 18 に登録する手段である。又、ユーザが著作物取引システム 1 を利用する際に、ユーザ端末 21 からユーザ ID とパスワードを受信し、ユーザデータベース 18 に登録された情報と比較して認証する手段でもある。

【0055】契約手段 11 は、ユーザが、著作物取引システム 1 に於いて公開された著作物を利用する際に、その著作物の権利保有者と契約を交わす手段である。ユーザが任意の著作物に対して利用申込を行うと、契約手段 11 は前記著作物のコンテンツ ID が定型か否かを、コ

ンテンツデータベース 16 に登録したコンテンツ ID から判断する。定型の場合は、利用条件データベース 17 に登録された利用料金、利用期間等の利用条件をユーザに再提示し、WWW 上に於いて諾否が決定される。前記コンテンツ ID が非定型の場合は、ユーザと権利保有者との個別交渉となるので、権利保有者データベース 13 から必要な情報（例えば交渉を求める先の権利保有者の電子メールアドレス等）を抽出し、ユーザ端末 21 に送信する。定型、非定型いずれの場合も契約終了後、契約手段 11 は著作物を利用する為のパスワードを発行し、ユーザ端末 21 に送信する。又、契約手段 11 は、契約の内容を契約データベース 19 に登録する。

【0056】

コンテンツ利用手段 12 は、コンテンツデータベース 16 に登録された映画や音楽等の著作物をユーザ端末 21 で利用できるようにする手段である。即ち、ユーザ端末 21 から著作物のダウンロードの要求を受信し、著作物をユーザ端末 21 に対して送信する等を行う手段である。

【0057】権利保有者データベース 13 は、著作物の登録の際に、権利保有者端末 20 から受信した権利保有者に関する情報や権利保有者手段 2 が前記発行したパスワードをデータベース化して格納しているデータベースである。

【0058】事実関係データベース 14 は、著作物の事実関係をデータベース化して格納しているデータベースである。

【0059】権利関係データベース 15 は、著作物の権利関係をデータベース化して格納しているデータベースである。

【0060】コンテンツデータベース 16 は、著作物に対してコンテンツ ID 手段 5 が付与したコンテンツ ID と著作物とをデータベース化して格納しているデータベースである。

【0061】利用条件データベース 17 は、各著作物の利用条件をデータベース化して格納しているデータベースである。

【0062】ユーザデータベース 18 は、ユーザの基本情報、ユーザ ID、パスワード等をデータベース化して格納しているデータベースである。

【0063】契約データベース 19 は、著作物取引システム 1 に於いて交わした利用契約の契約内容をデータベース化して格納しているデータベースである。

【0064】

【実施例】次に、本発明のプロセスの流れの一例を図 2 から図 4 に示すフローチャート図を用いて詳細に説明する。まず、権利保有者が著作物を著作物取引システム 1 に登録する際のプロセスの流れの一例を図 2 と図 3 に示すフローチャート図を用いて説明する。

【0065】著作物に対して有している権利を著作物取

引システム 1 に登録し、その利用が為されることを希望する権利保有者は、権利保有者端末 20 から著作物取引システム 1 にネットワーク 22 を介してアクセスする (S100)。これは、著作物取引システム 1 の URL (Uniform Resource Locator) を入力する等により行なう。

【0066】S100 に於いて権利保有者端末 20 と著作物取引システム 1 との接続が確立すると、権利保有者は権利保有者端末 20 から権利保有者に関する情報を入力する (S110)。入力する情報の一例としては、権利保有者名、住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、法人の場合は代表者名、経歴、及び今回登録する以外に権利関係を有している著作物等が挙げられる。

【0067】S110 に於いて権利保有者が入力した情報は、ネットワーク 22 を介して著作物取引システム 1 の権利保有者手段 2 に於いて受信する。権利保有者手段 2 は、権利保有者に関する情報を受信後、前記受信した権利保有者に関する情報を権利保有者データベース 13 に登録し、又権利保有者に対してパスワードを発行し、権利保有者端末 20 にパスワードを送信する (S120)。この際に発行したパスワードを権利保有者データベース 13 に登録することは当然である。図 5 に権利保有者データベース 13 の概念図の一例を示す。

【0068】尚、S110 及び S120 は新規の権利保有者の登録を行う際、権利保有者に関する情報の変更がある場合に必要であり、省略が可能であることは言うまでもない。又フローチャート図には明記しないが、権利保有者の 2 回目以降のアクセスの際、パスワードを入力して認証するステップがあっても良いことは当然である。

【0069】権利保有者は、権利保有者端末 20 から著作物の事実関係を入力する (S130)。著作物に関する事実関係の一例としては、制作日、作成国 (著作物の所属する国)、制作場所等の制作関連情報、タイトル、サブタイトル、ストーリー、解説、キーワード、言語等の著作物概要、著作物の形態、ジャンル、連載番号等の著作物種別に関する情報等が挙げられる。権利保有者端末 20 から入力した情報は、著作物取引システム 1 の事実関係手段 3 に於いて受信し、事実関係データベース 14 にデータベース化して登録する。図 6 に事実関係データベース 14 の概念図の一例を示す。

【0070】S130 に於いて著作物の事実関係を事実関係データベース 14 に登録すると、権利保有者は権利保有者端末 20 から、著作物の権利関係に関する情報を入力する (S140)。権利関係に関する情報の一例としては、権利保有者が有している権利、著作物に係る権利 (原作、脚本、音楽、人物、二次使用等) がクリアになっているか等がある。この際には図 7 に示す複数の 2 択の質問を権利関係手段 4 から著作権者端末に送信し、

著作権者がこれらの質問に回答することによって、権利関係が権利関係手段 4 を介して権利関係データベース 15 に登録される。権利保有者端末 20 から入力した情報は、著作物取引システム 1 の権利関係手段 4 に於いて受信し、権利関係データベース 15 にデータベース化して登録する。

【0071】尚、ここで 2 択の質問を行うことによって、権利関係を設定することが容易となる。

【0072】S140 に於いて著作物の権利関係を権利関係データベース 15 に登録すると、権利関係手段 4 は、著作物に対する権利関係が明確であるか否かを判断し (S150)、権利関係が明確でない場合には、権利保有者端末 20 に対してその旨を送信し、著作物を登録するか否かを選択させる (S160)。S160 に於いて著作物を登録しないことを選択した場合には、著作物取引システム 1 を終了する。

【0073】S160 に於いて権利関係が明確でないが著作物を登録することを権利保有者端末 20 から受信した場合、又は S150 に於いて権利関係が明確である場合には、著作物取引システム 1 の利用条件登録手段 8 は、権利保有者端末 20 に対して著作物の利用方法毎の利用料金、利用期間等の利用条件の登録を促す。

【0074】著作物の利用条件の登録を促す旨を受信後、著作権者は、権利保有者端末 20 から著作物の利用条件を入力する (S170)。S170 に於いて権利保有者端末 20 から入力された利用条件は、著作物取引システム 1 の利用条件登録手段 8 に於いて受信する。

【0075】利用条件登録手段 8 は、前記受信した利用条件を利用条件データベース 17 に登録し、コンテンツ ID 手段 5 は、事実関係データベース 14、権利関係データベース 15、利用条件データベース 17 に登録した、著作物の事実関係、権利関係、利用条件とに基づいて著作物に対して著作物の識別、権利関係、利用条件の概略が一瞥で判別可能なコンテンツ ID を発行する (S180)。

【0076】コンテンツ ID は、著作物の特徴が数字のみ、又は数字と英字とで表現されており、事実関係、権利関係、利用条件の 3 種類の情報を有している。事実関係の情報には、著作物の国番号、著作物形態、ジャンル、著作物番号、連載番号、ファイル番号等の S130 に於いて入力した事実関係の情報が含まれ、それぞれを一連の数字で表現する。

【0077】権利関係の情報には、同一タイトルの著作物が他にないかという確認 (ない場合には 0、あるが許可を取った場合には A、許可を取っていない場合には B)、著作物に関して権利を有する著作者、原作、脚本、実演家、音楽、映像等を含む関係者から許可を得ているか (即ち権利関係を解決しているか否か) 等の情報 (解決している場合には 0、連絡先が分かる権利者は全て解決しているが連絡先が分からない権利者は解決して

いない場合はA、問題がある場合はB)を示しており、S140に於いて入力した権利関係の情報が含まれている。

【0078】つまり、権利関係に何らかの問題がある場合には、数字以外がコンテンツIDに含まれることとなり、これに基づいて権利関係が明確化されているか否かを一瞥で判別することが可能となる。

【0079】利用条件の情報には、利用可能初日、利用可能日数、利用可能範囲、利用に関しての諸条件があるか否か等の情報が表現される。利用可能初日は、著作物の利用を可能とする最初の日であり、利用可能日数は、利用可能初日から何日間の利用が可能であることを示し、利用可能範囲は、地上波放送、CATV、CS放送、BS放送、インターネット放送等の著作物を利用する放送媒体を示している。例えば放送全てなら1、地上波放送なら2、CATVなら3とのように可能な部分については数字で表し、利用不可能と言う場合はX等の英字となる。又、利用に際しての諸条件がない場合は0等の数字、ある場合はA等の英字で表現されており、S170に於いて入力した利用条件の情報が含まれている。

【0080】このようにして一連の英数字でコンテンツIDが構成されるが、全て数字の場合(著作物に対して何も問題が存在しない場合)は定型、英字を含むコンテンツIDの場合(著作物に対して何からの問題が存在する場合)は非定型となる。依って、このコンテンツIDを閲覧するのみで権利関係が明確化している著作物であるか否かを判断することが可能となる。図8にコンテンツIDのデータ構造の概念図とコンテンツIDの定型及び非定型の場合の一例を示す。

【0081】S180に於いてコンテンツID手段5で発行したコンテンツIDは、コンテンツデータベース16に登録する。

【0082】S180に於いて著作物に対してコンテンツIDを発行後、利用条件判断手段7は、コンテンツデータベース16に登録したコンテンツIDを参照し、著作物が定型か否かを判断する(S190)。

【0083】S190に於いて著作物のコンテンツIDが定型である場合には、利用条件判断手段7は他の定型の著作物の利用条件と比較し、S170に於いて登録した利用条件が妥当であるか否かを判断する(S200)。これは、S180に於いて発行したコンテンツIDと類似するコンテンツIDをコンテンツデータベース16から検索し、前記検索したコンテンツIDの利用条件を利用条件データベース17から抽出する。前記抽出した利用条件と、S170に於いて登録した利用条件とを比較し、著しい格差がなければS170に於いて登録した利用条件は妥当であると判断し、そのまま利用条件データベース17に登録しておく。

【0084】S200に於いて、利用条件に著しい格差が生じている場合には、何らかの作為的な利用条件の登

録、あるいは入力ミス等である可能性があるので、利用条件の再入力を権利保有者端末20に促し、利用条件を再登録させる。この際にS170に於いて登録した最初の利用条件を更新し、又利用条件の再登録に伴ってコンテンツIDに何らかの変化が生じる場合にはコンテンツIDを変更してコンテンツデータベース16を新しいコンテンツIDで更新する。

【0085】S190に於いて著作物が定型でない場合(即ち非定型である)場合、利用条件判断手段7は他の非定型の著作物の利用条件と比較し、S170に於いて登録した利用条件が妥当であるか否かを判断する(S210)。これは、S180に於いて発行したコンテンツIDと類似するコンテンツIDをコンテンツデータベース16から検索し、前記検索したコンテンツIDの利用条件を利用条件データベース17から抽出する。前記抽出した利用条件と、S170に於いて登録した利用条件とを比較し、著しい格差がなければS170に於いて登録した利用条件は妥当であると判断し、そのまま利用条件データベース17に登録しておく。

【0086】S210に於いて、利用条件が著しい格差が生じている場合には、何らかの作為的な利用条件の登録、あるいは入力ミス等である可能性があるので、利用条件の再入力を権利保有者端末20に促し、利用条件を再登録させる。この際にS170に於いて登録した最初の利用条件を更新し、又利用条件の再登録に伴ってコンテンツIDに何らかの変化が生じる場合にはコンテンツIDを変更してコンテンツデータベース16を新しいコンテンツIDで更新する。

【0087】又、S190からS210に於いて、利用条件を過去に登録した利用条件から判断するのみならず、コンテンツデータベース16及び利用条件データベース17内に予め複数の基本パターンとなる、コンテンツIDと利用条件の基本パターン(雛形)を登録しておくそれと比較することによって、利用条件判断手段7で利用条件が妥当であるか否かを判断しても良い。

【0088】利用条件判断手段7に於いて利用条件が妥当と判断された後、権利保有者端末20から著作物を受信し、著作物を受信したコンテンツ登録手段6はコンテンツデータベース16にコンテンツIDと対応づけて登録する(S220)。即ち、映画や音楽等の著作物をコンテンツデータベース16にデータベース化して格納することとなる。

【0089】S220に於いてコンテンツ登録手段6がコンテンツデータベース16に著作物を登録すると、コンテンツID手段5はS180に於いて発行したコンテンツIDを権利保有者端末20に送信する(S230)。

【0090】S230に於いて送信されたコンテンツIDを権利保有者端末20に送信後、公開手段9は登録された著作物の情報の公開を必要に応じて行なう(S24

0)。ここで公開するとは、ネットワーク 22 上に掲載することを意味し、例えば WWW 上に HTML 化して掲載する等がある。S 240 に於いて公開する著作物の情報は、事実関係データベース 14 に格納している事実関係、権利関係データベース 15 に格納している権利関係、コンテンツデータベース 16 に格納しているコンテンツ ID、利用条件データベース 17 に格納している著作物の利用条件等がある。又、著作物のサンプルを S 220 に於いて権利保有者端末 20 から受信し、コンテンツデータベース 16 に登録することによって、サンプルも公開することが好適である。

【0091】次に、S 100 から S 240 のプロセスを経て著作物取引システム 1 に登録された著作物をユーザが利用する場合の一例を図 4 に示すフローチャート図を用いて説明する。

【0092】著作物取引システム 1 の利用を希望するユーザは、ユーザ端末 21 からネットワーク 22 を介して著作物取引システム 1 にアクセスし、新規ユーザの登録を行う (S 300)。ユーザ登録において入力する情報は、住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス、クレジットカード番号等が挙げられる。S 300 に於いてユーザ端末 21 から入力された情報は、ユーザ手段 10 を介してユーザデータベース 18 に登録する。

【0093】S 300 に於いて新規ユーザの登録が行われると、ユーザ手段 10 はユーザ端末 21 にパスワードを送信する (S 310)。このパスワードは、2 回目以降のアクセス時にユーザの認証の為に用いられる。尚、S 300 と S 310 とは新規のユーザの登録を行う際、ユーザに関する情報に変更がある場合に必要であって、省略が可能であることは言うまでもない。又フローチャート図には明記しないが、ユーザの 2 回目以降のアクセスの際には、パスワードを入力して認証するステップがあっても良いことは当然である。

【0094】S 310 に於いてユーザ端末 21 に対してパスワードを送信後、著作物取引システム 1 は、公開手段 9 に於いて公開している著作物、事実関係、権利関係、コンテンツ ID、利用条件等をユーザ端末 21 に送信し、ユーザ端末 21 で受信することに依って、それらをユーザは閲覧する (S 320)。

【0095】S 320 に於いて公開手段 9 に於いて公開している著作物の中から、ユーザは利用を希望する著作物を選択し、利用申込を著作物取引システム 1 に送信する (S 330)。

【0096】S 330 に於いてユーザ端末 21 から送信された利用申込は契約手段 11 で受信し、契約手段 11 はユーザ端末 21 から利用申込が為された著作物のコンテンツ ID が定型であるか否かを、コンテンツデータベース 16 を参照して判断する (S 340)。

【0097】S 340 に於いて著作物のコンテンツ ID が定型である (即ちコンテンツ ID が数字のみから構成

される) 場合には、契約手段 11 は利用条件データベース 17 から当該著作物の利用条件を抽出し、ユーザ端末 21 に送信する。ユーザは利用条件を再度閲覧した上で契約を交わす (S 350)。S 350 に於いて契約を交わした際に契約手段 11 は、契約データベース 19 に契約内容と契約当事者 (ユーザと権利保有者) 等の契約に関する情報を登録し、同時に契約手段 11 は契約内容の全て又は一部を公開する。

【0098】S 340 に於いて著作物のコンテンツ ID が非定型である場合には、契約手段 11 は契約交渉を行う為のアクセス先である電子メールアドレス等を権利保有者データベース 13 から抽出し、ユーザ端末 21 に送信する。ユーザ端末 21 で前記送信された電子メールアドレス等を受信し、これを用いてユーザは直接権利保有者と交渉をし、個別交渉の上契約を交わす (S 360)。契約後、ユーザはユーザ端末 21 から契約内容を送信し、契約手段 11 は前記ユーザ端末 21 から送信された契約内容を受信し、契約データベース 19 に登録する。

【0099】S 350 又は S 360 に於いて契約が交わされた後、コンテンツ利用手段 12 はユーザ端末 21 に著作物を利用する為のパスワードを送信する (S 370)。

【0100】S 370 に於いて送信されたパスワードをユーザ端末 21 で受信した後、ユーザは前記パスワードを用いて著作物の利用を行う (S 380)。

【0101】本発明に於ける各手段、データベースは、その機能が論理的に区別されているのみであって、物理上あるいは事実上は同一の領域を為していても良い。

【0102】尚、本発明を実施するにあたり本実施態様の機能を実現するソフトウェアのプログラムを記録した記憶媒体をシステムに供給し、そのシステムのコンピュータが記憶媒体に格納されたプログラムを読み出し実行することによって実現されることは当然である。

【0103】この場合、記憶媒体から読み出されたプログラム自体が前記した実施態様の機能を実現することとなり、そのプログラムを記憶した記憶媒体は本発明を当然のことながら構成することになる。

【0104】プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、例えばフロッピー (登録商標) ディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、磁気テープ、不揮発性のメモ리카ード等を使用することができる。

【0105】また、コンピュータが読み出したプログラムを実行することにより、上述した実施態様の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているオペレーティングシステムなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前記した実施態様の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0106】さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わる不揮発性あるいは揮発性の記憶手段に書き込まれた後、そのプログラムの指示に基づき、機能拡張ボードあるいは機能拡張ユニットに備わる演算処理装置などが実際の処理の一部あるいは全部を行い、その処理により前記した実施態様の機能が実現される場合も含まれることは当然である。

【0107】

【発明の効果】本発明により、公信力、公示力、公証力を有する著作物取引システムが可能となり、権利保有者側、利用者側の従来の心理的物理的不安を解消し安全性の高い著作物取引が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のシステム構成の一例を示すシステム構成図である。

【図2】 本発明のプロセスの流れの一例を示すフローチャート図である。

【図3】 本発明のプロセスの流れの一例を示すフローチャート図である。

【図4】 本発明のプロセスの流れの一例を示すフローチャート図である。

【図5】 権利保有者データベースの概念図の一例を示す図である。

【図6】 事実関係データベースの概念図の一例を示す図である。

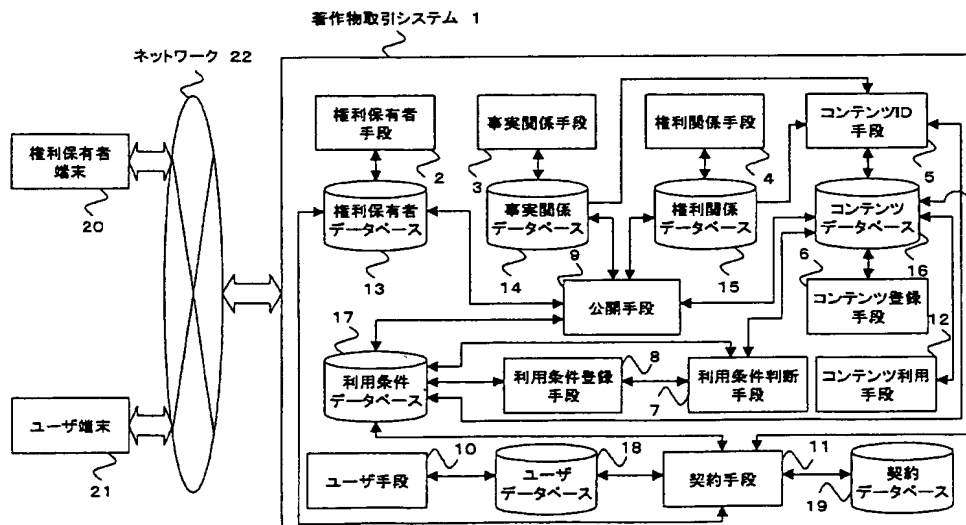
【図7】 権利関係の質問の一例を示す図である。

【図8】 コンテンツIDのデータ構造の一例を示す図である。

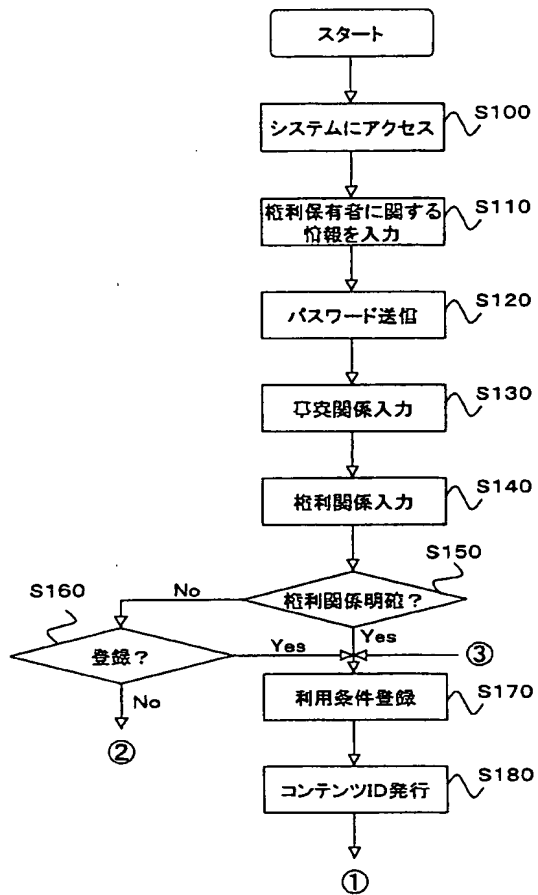
【符号の説明】

- 1：著作物取引システム
- 2：権利保有者手段
- 3：事実関係手段
- 4：権利関係手段
- 5：コンテンツID手段
- 10 6：コンテンツ登録手段
- 7：利用条件判断手段
- 8：利用条件登録手段
- 9：公開手段
- 10：ユーザ手段
- 11：契約手段
- 12：コンテンツ利用手段
- 13：権利保有者データベース
- 14：事実関係データベース
- 15：権利関係データベース
- 20 16：コンテンツデータベース
- 17：利用条件データベース
- 18：ユーザデータベース
- 19：契約データベース
- 20 20：権利保有者端末
- 21：ユーザ端末
- 22：ネットワーク

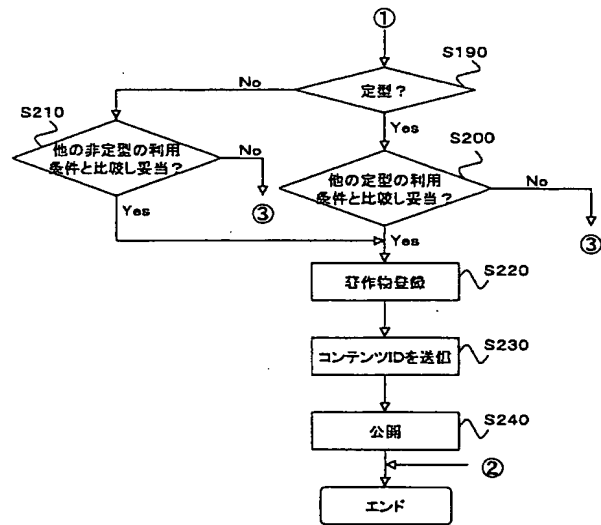
【図1】



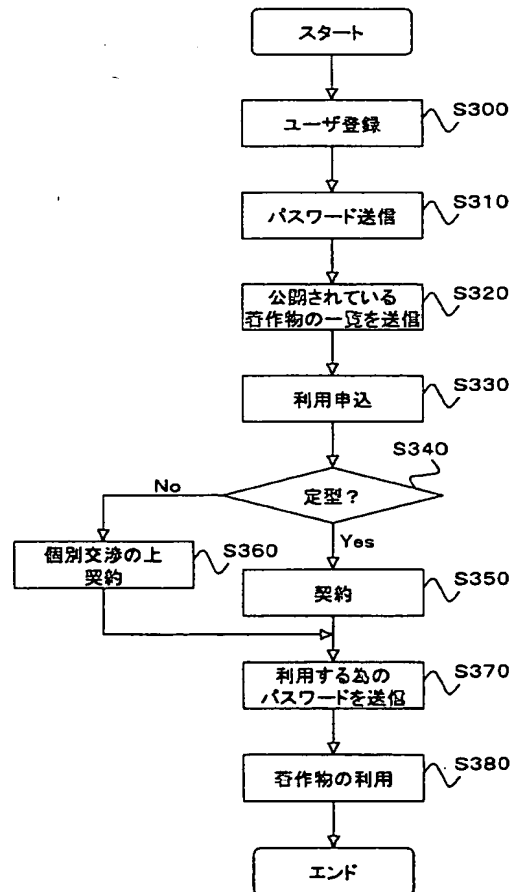
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図5】

(1) 権利保有者名(個人の場合は個人名、法人の場合は法人名)	
(2) 国(国番号プルダウン)	
(3) 都道府県	
(4) 市区町村	
(5) 番地	
(6) 建物	
(7) 電話番号	
(8) ファックス番号	
(9) 電子メールアドレス①	
(10) 電子メールアドレス②	
(11) 代表者名(法人の場合)	
(12) 担当者名(法人の場合)	
(13) 経歴	
(14) その他の作品	

【図6】

1) 制作関連情報	
① 制作日(著作物の完成日)	
② 作成国(著作物の所属する国)⇒国番号表からプルダウン	
③ 制作場所(例:東京 ○○スタジオ)	
2) 著作物概要	
① タイトル	
② サブタイトル	
③ ストーリー	
④ 解説	
⑤ キーワード	
⑥ 言語(言語番号表からプルダウン)	
⑦ 付記	
3) 著作物種別	
① 著作物の形態(「著作物形態」からのリレーション)変更不可	
② ジャンル(ジャンル番号表からプルダウン)	
③ 連番号(連載作品の回番号)	

【図7】

	yes	no	
Q1 同じタイトルの映画が以前にあった。	yes/no/blank		yes: 不正競争防止法・著作権法に違反します。使用許諾必要。
Q2 同じタイトルの本がある。	yes/no/blank		yes: 不正競争防止法・著作権法に違反します。使用許諾必要。
Q3 原作(小説)がある。	Q11 へ		
Q4 原作(漫画)がある。	Q22 へ		
Q5 脚本がある。	Q33 へ		
Q6 映画の中に音楽を使用している。	Q44 へ		
Q7 映画の中に人物が登場する。	Q419 へ		
Q8 映画の中で有名な詩や文章を使用した。	Q431 へ		
Q9 映画の中に既存の漫画・アニメのキャラクターが登場する。	Q440 へ		
Q10 映画の中に異世界・異世界作品が登場する。	Q446 へ		

【図8】

<p>同一タイトルの映画や小説が他にないかどうかの確認 0: ない A: 許可を取った B: 許可を取っていない</p>						<p>権利関係がクリアされているかどうかを示す番号 0: クリアされている A: 連絡先がわかる権利者については、全てクリアしている。連絡先がわからない権利者については確認が取れず。 B: 関係あり</p>						<p>1: 放送全て 2: 地上放送 3: CATV 4: BS放送 5: BS放送 6: インターネット 7: 有線ケーブル 8: 録画して2次利用 9: 上記全て可能 X: 利用不可</p>						<p>利用に際しての条件があるかどうかを示す番号 0: なし A: あり</p>	
作成したデジタルファイル、テーブルメディア等の番号																			
事実関係						権利関係						利用条件							
国書	作品形態	ジャンル	作品番号	題名番号	ファイル番号	問題確認番号	著作権確認番号	著作権本確認番号	実演家確認番号	音楽確認番号	その他権利確認番号	利用可能初日	利用可能日数	利用可能期間	録画条件取				
3桁数字	1桁数字	2桁数字	4桁数字	3桁数字	3桁数字	1桁英数字	1桁英数字	1桁英数字	1桁英数字	1桁英数字	1桁英数字	6桁数字	3桁数字	英数字	1桁英数字				
081	1	02	000001	000	002	0	0	0	0	0	0	010425	090	23456	0				
081	1	02	000001	000	002	0	A	0	A	B	0	010425	090	23456	A				

定型	081102000001000002000000010425090234560
非定型	0811020000010000020A0AB001042509023456A

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

G 0 6 F 15/00

識別記号

3 3 0

F I

G 0 6 F 15/00

テーマコード* (参考)

3 3 0 Z

THIS PAGE BLANK (USPTO)